

2025年度
大学院 学生調査実施報告



大学院 学生調査について

KEIO UNIVERSITY STUDENT SURVEY

教学マネジメント推進センターでは、2022年度より、学部¹に在学する学生を対象とした調査を実施しており、2025年度からは大学院を対象とした調査を開始いたしました。学修成果や研究の達成度、就職・進路等の設問を通じて大学院における教育プログラムの見直し・改善に活用することを企図しています。

大学院調査の主な目的

・大学院生の学生生活実態を把握し可視化することで、研究科における自己点検・評価活動の指標として活用するとともに、全学的な大学院教育の見直し・改善に資することを目的としています。

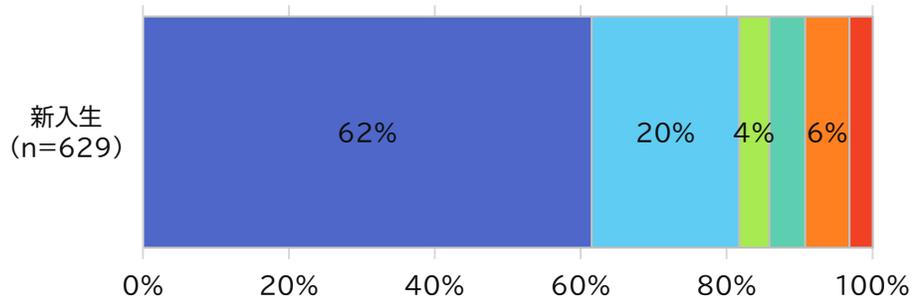
調査概要

KEIO UNIVERSITY STUDENT SURVEY

<u>対象者</u>	2025年4月に在籍している大学院生 (修士課程・後期博士課程・博士課程・専門職学位課程)
<u>実施期間</u>	2025年4月11日～5月7日
<u>実施方法</u>	在学生向けポータルサイト(K-Support)によるアンケート機能を利用
<u>回答数</u>	1307件/5045件 (回答率:約26%)
<u>調査主体</u>	教学マネジメント推進センター／教学マネジメント推進室

1 入学プロセス【新入生のみ】

Q どのようなプロセスを経て現在の課程に入学しましたか



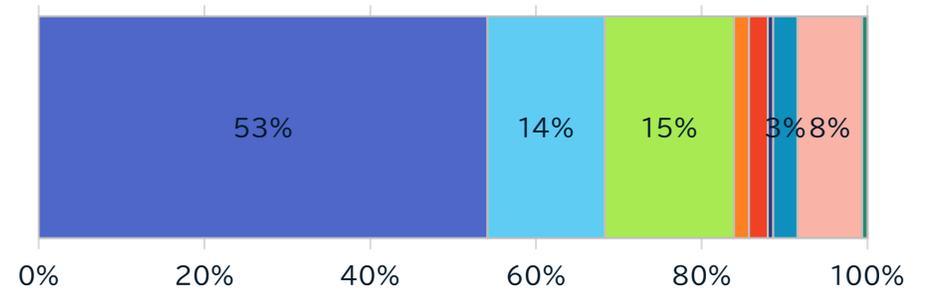
- 学部・修士から進学
- 社会人(現職中)
- 社会人(休職中)
- 社会人(企業等からの派遣)
- 企業等を退職
- その他

・学部または修士からの進学が約6割
・約2割は現職の社会人

・学修や研究に関心があり進学している学生が最も多い
・研究職以外の就職・転職・キャリアアップに有利と考えている学生は1.5割

2 大学院への進学理由【新入生のみ】

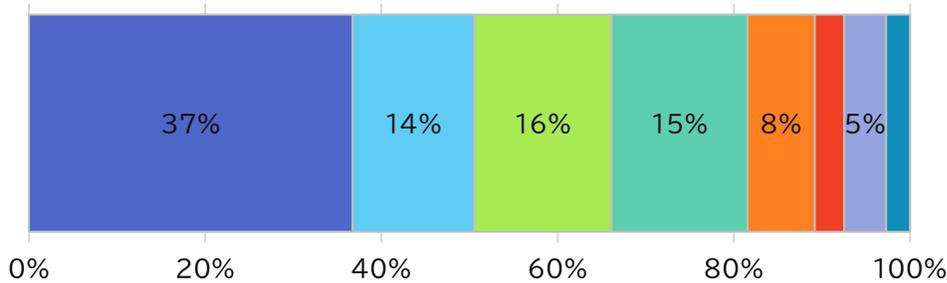
Q 大学院に進学した理由について、もっともあてはまる項目を選択してください



- 大学院での学修・研究に関心があったため
- 将来研究職に就くことを希望しているため
- 研究職以外の就職・転職・キャリアアップに有利なため
- 周囲に進学する人が多かったため
- 指導教員や家族に勧められたため
- まだ就職したくない(できなかった)ため
- 教員免許(専修等)や資格を取得するため
- 大学と企業との研究交流・企業派遣のため
- 国家試験受験のため
- その他

3 本学を選択した理由【新入生のみ】

Q 本学を選択した理由について、もっともあてはまる項目を選択してください

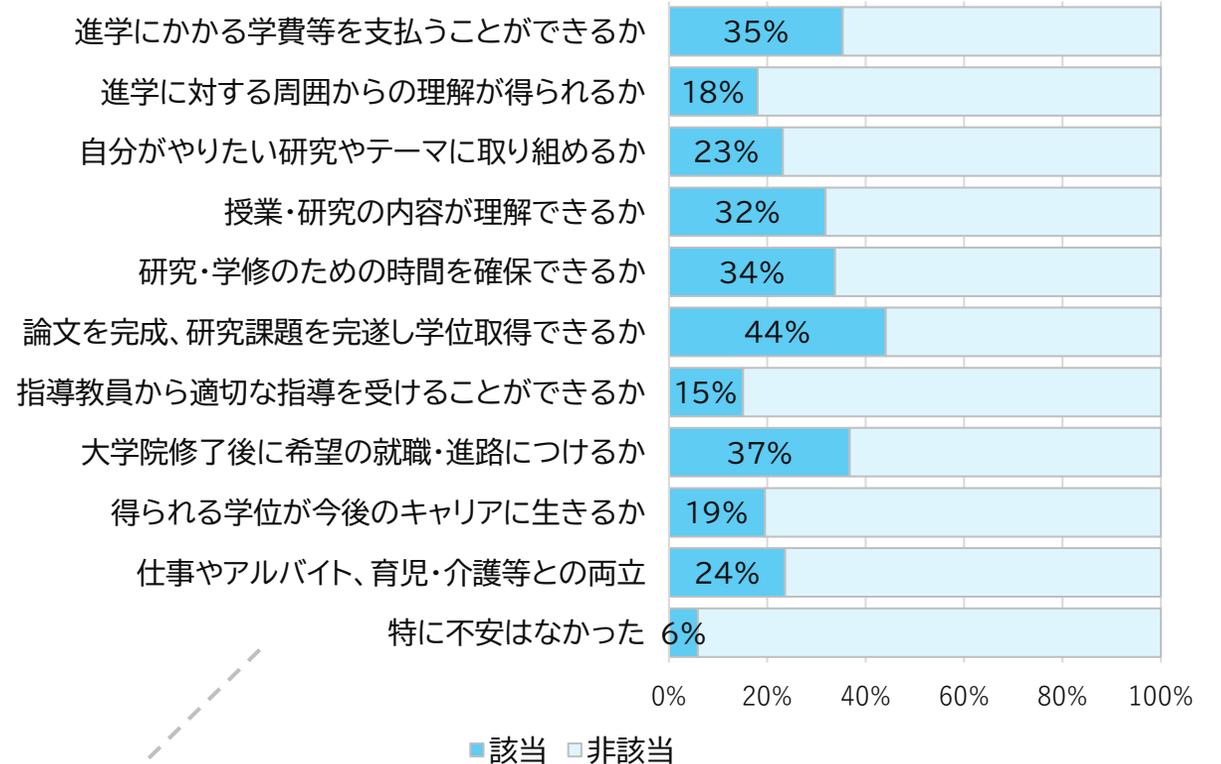


- 本学の学士(修士)に在籍していたため
- 自身の研究分野を学ぶ環境が充実しているため
- 自身の分野だけでなく幅広い分野を学ぶ環境が充実しているため
- 教わりたい教員が在籍しているため
- 就職・資格取得の実績があるため
- 知名度があるため
- 周囲から勧められたため(企業・家族など)
- その他

・本学に在籍していたという理由が多いが、自身の研究分野を学ぶ環境や幅広い分野を学ぶ環境が充実していることを理由に選択した学生も多い

4 進学にあたっての不安【新入生のみ】

Q 大学院に進学するにあたり不安に感じていたことをすべて選択してください

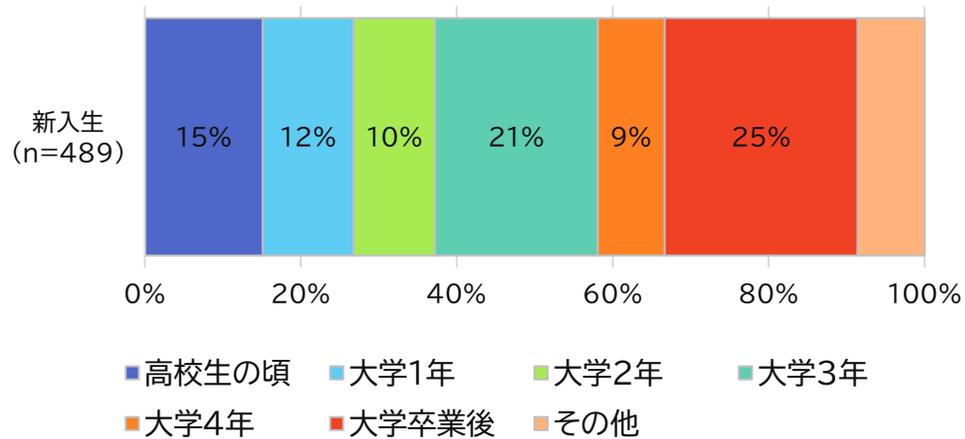


・論文完成・課題完遂など学位取得への不安が最も多い
・就職、進路への不安も感じている学生が多い

5 進学を考えた時期【新入生のみ】

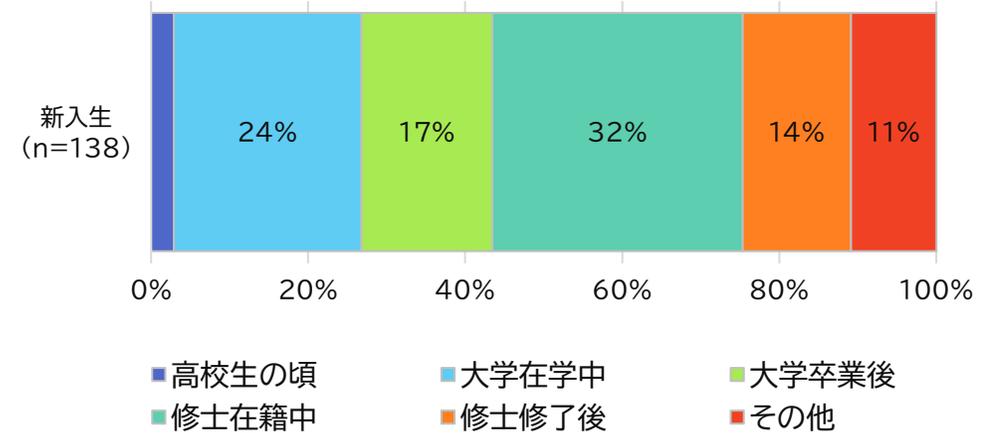
Q 現在の課程への進学を考えた時期はいつですか

【修士課程・専門職学位課程在籍者】



- ・大学卒業後に進学を考えた学生がもっとも多い
- ・次いで大学3年に進学を考えた学生が多い

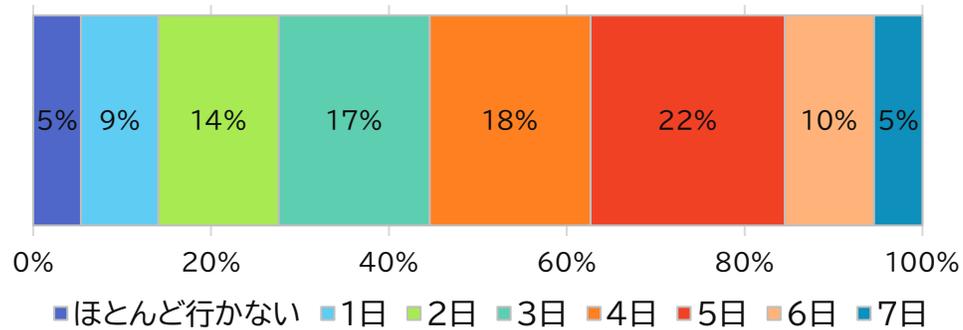
【後期博士課程・博士課程在籍者】



- ・博士への進学は修士在籍中に考えた学生がもっとも多い

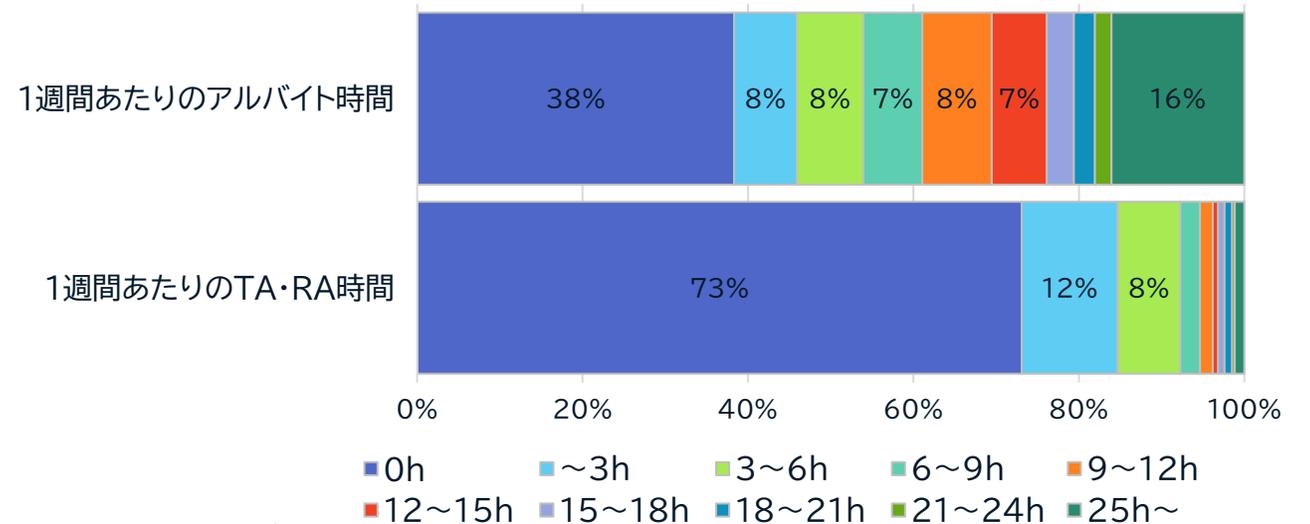
6 1週間あたりの生活時間(大学で過ごす時間・アルバイト・TA/RA)

Q 1週間あたりの大学で過ごす時間
(大学病院や研究先を含む)



・1週間のうち大学に5日程度通う学生の割合がもっとも多く、全体の平均日数は約3.6日

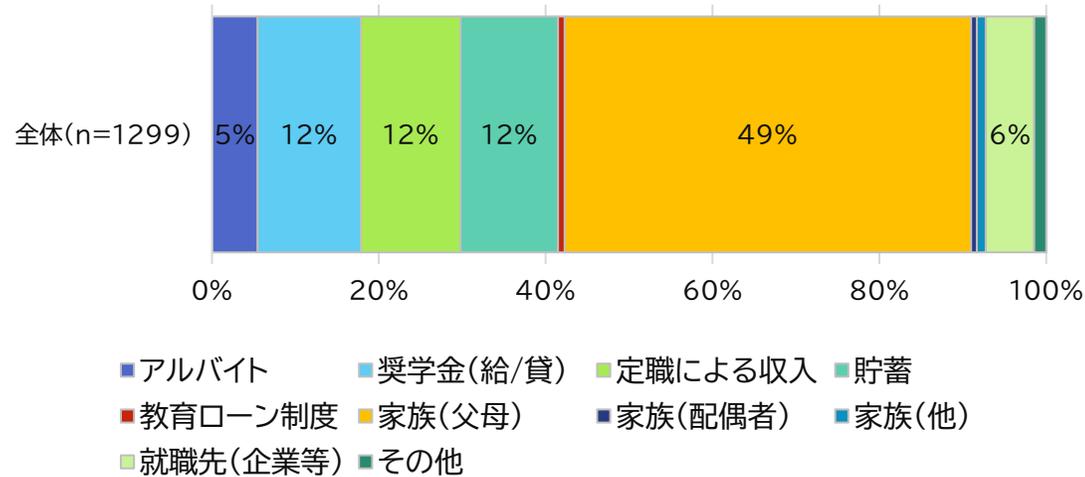
Q 1週間あたりのアルバイト平均時間
(社会人・現職中の場合は1週間あたりの就労時間)
および直近の学期における1週間あたりのTA・RAの平均時間



・アルバイトは0時間がかつとも多く、次いで25時間以上が多い
・TA/RAの時間は0時間がかつとも多い

7 学費の支払元

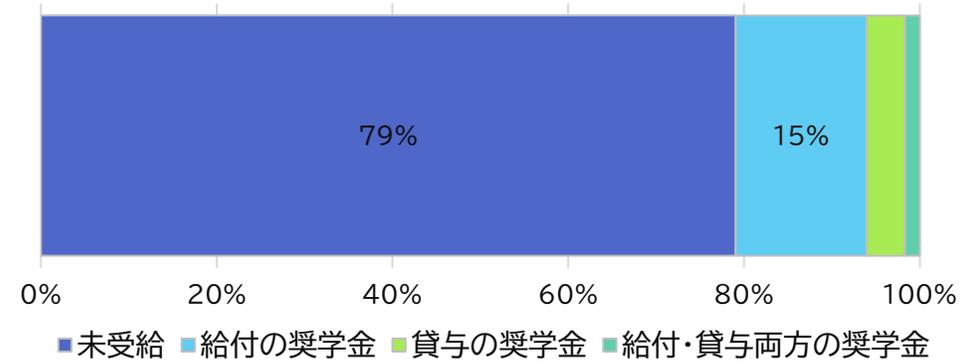
Q あなたの学費(在学料、授業料、実験費など)は主にどこから支払われていますか【任意】



・家族(父母)から支払われている学生が約半数

8 奨学金の受給状況

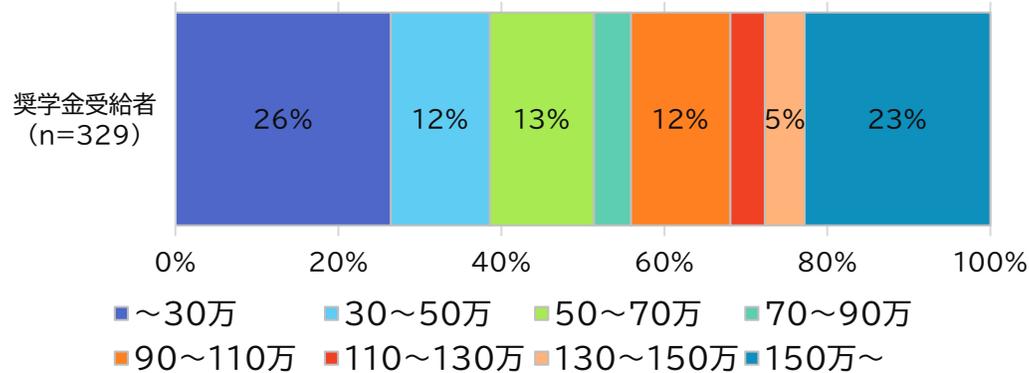
Q 現在奨学金を受けていますか
(SPRING、日本学術振興会特別研究員等の研究助成金を除く)



・奨学金を受給している学生は約2割

9 奨学金の受給額合計

Q 前の質問で奨学金を受けている場合、年間に受給している奨学金の合計額を選択してください(SPRING・日本学術振興会特別研究員等の研究助成金を除く)【任意】

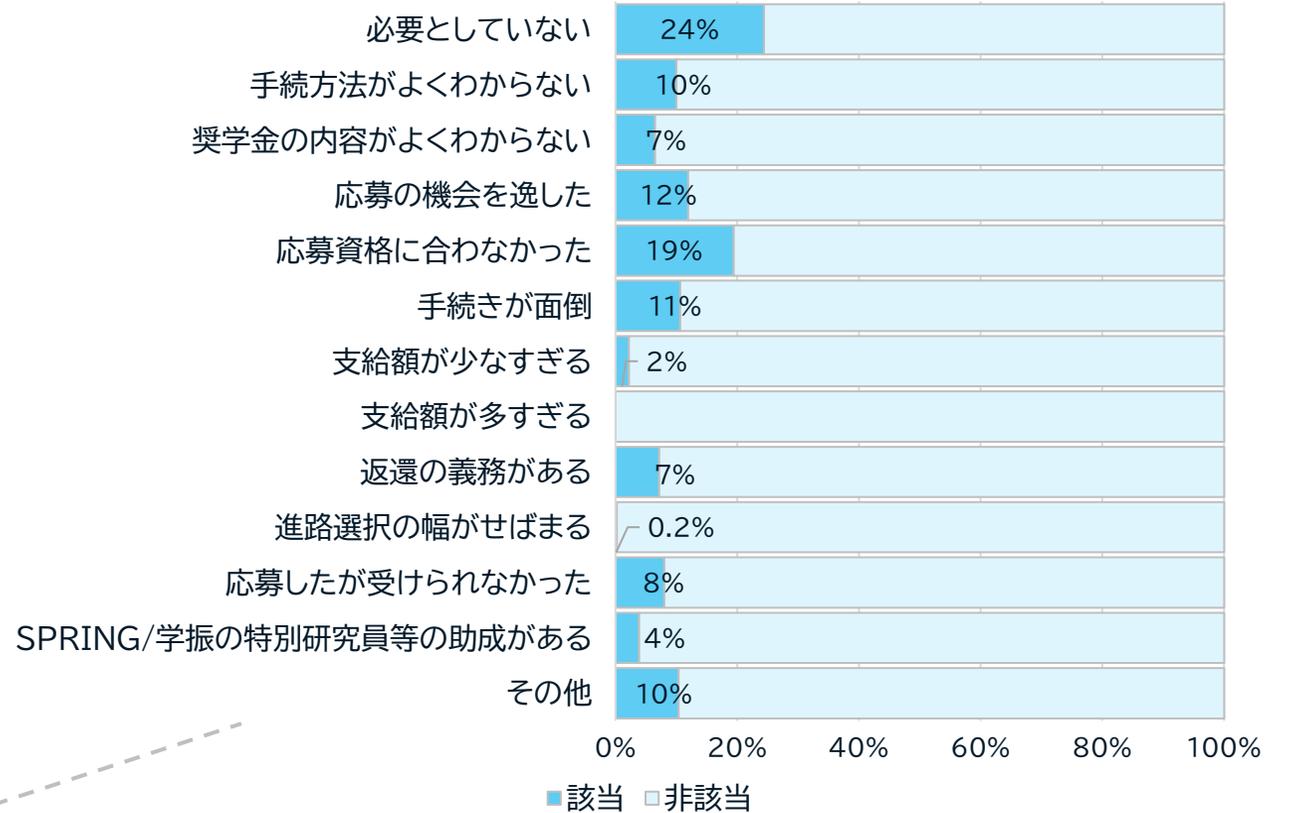


・受給金額は学生によって幅広い

・奨学金を利用していない理由としては「必要としない」がもっとも多い

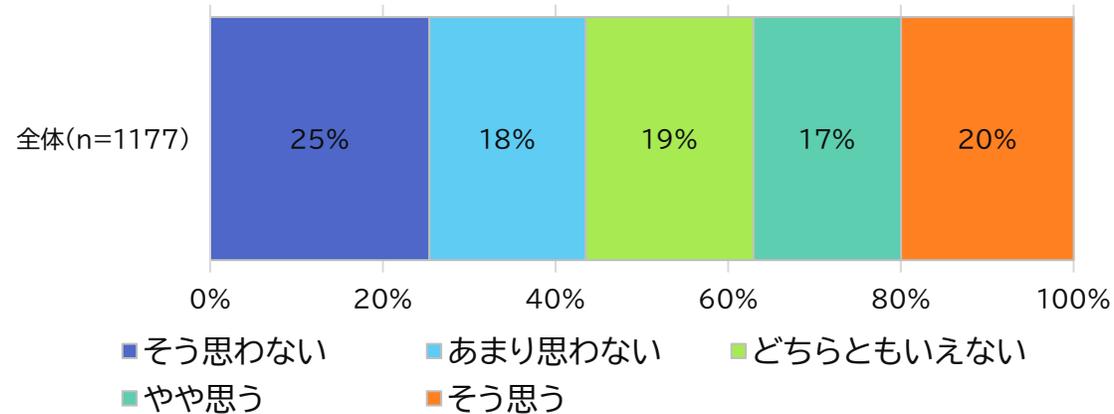
10 奨学金を受給していない理由

Q 奨学金を受けていない場合は、その理由についてあてはまるものをすべて選択してください【任意】



11 学修・研究に関する費用について

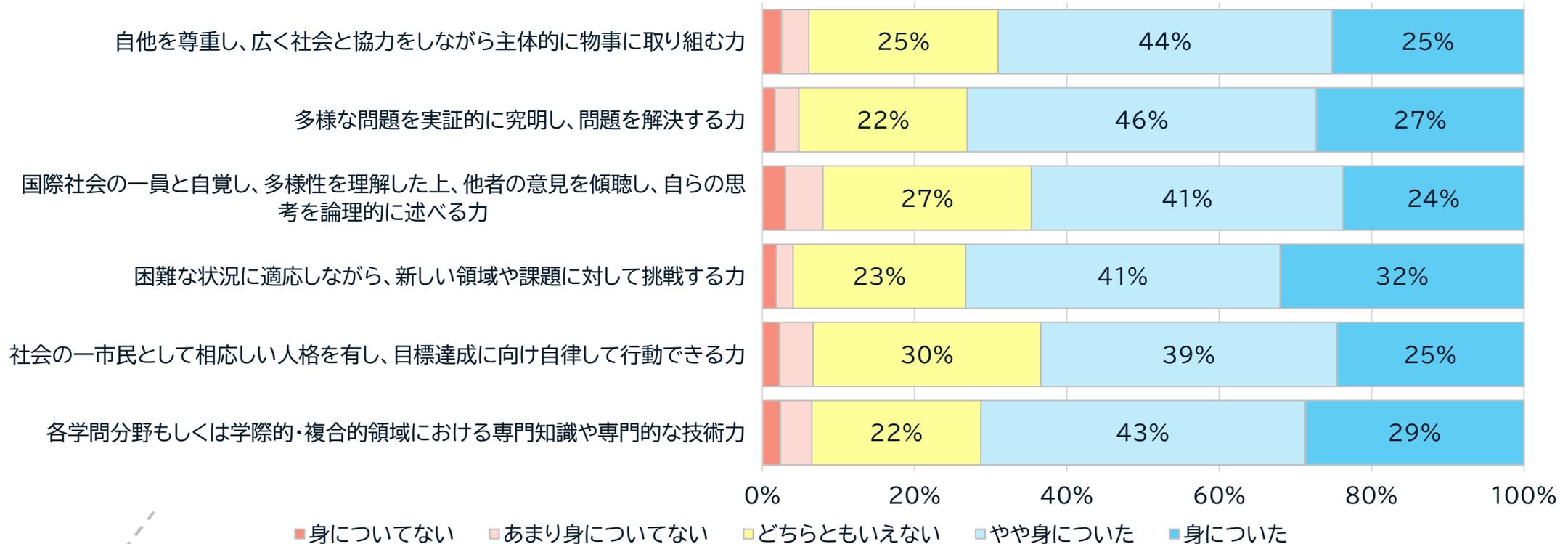
Q 学修・研究に要する費用について、現在の収入(奨学金含む)で十分にカバーできていますか【任意】



・学修/研究の費用が十分にカバーできていないと答える学生が全体の4分の1程度

12 学修成果

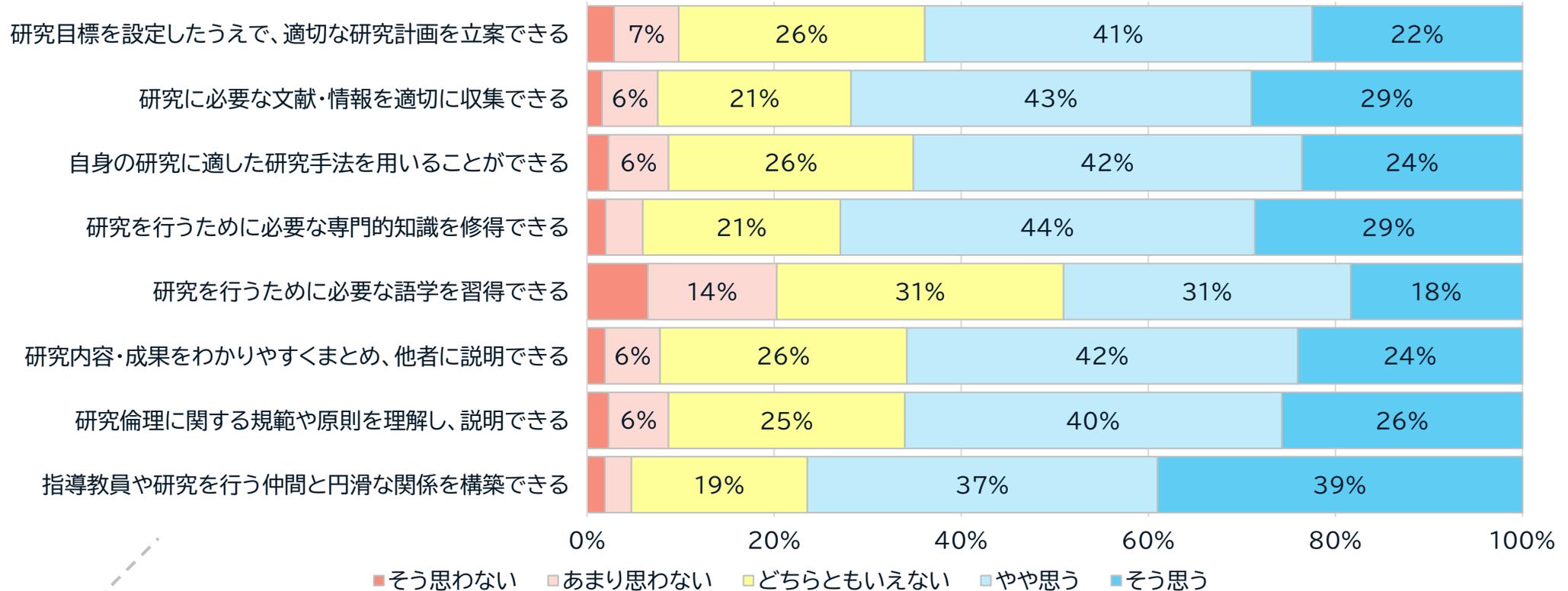
Q これまでの学生生活において、以下の能力やスキルについて、現在の課程に入学した時と比較してどの程度向上した、あるいは身についたと考えますか。



・いずれの能力も7割ほどの学生が入学時より身につけている

13 研究成果

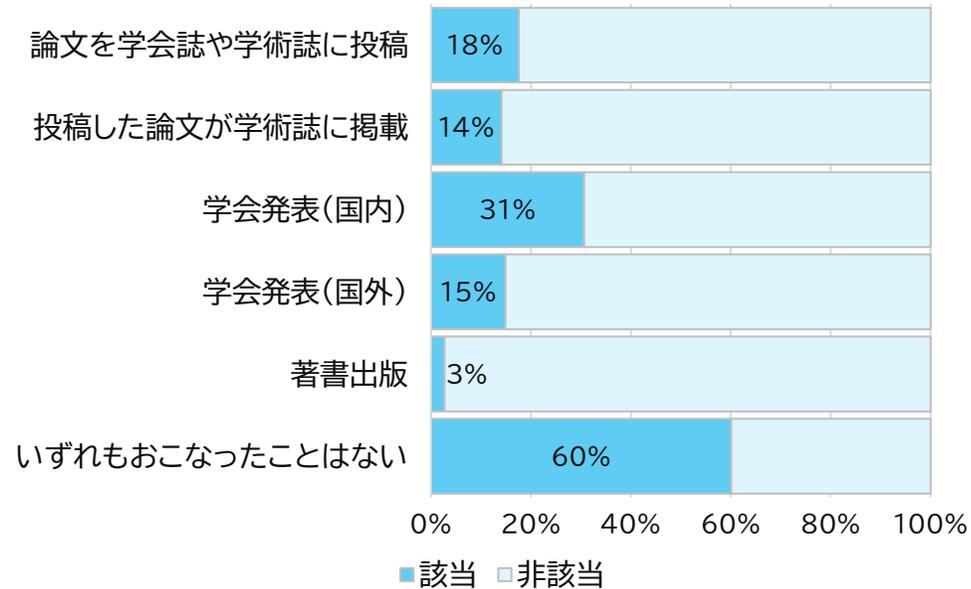
Q 自身の研究活動等に取り組むにあたり、以下の項目についてどの程度達成することができていますか



・いずれの能力も7割ほどの学生が達成している

14 研究成果の発表

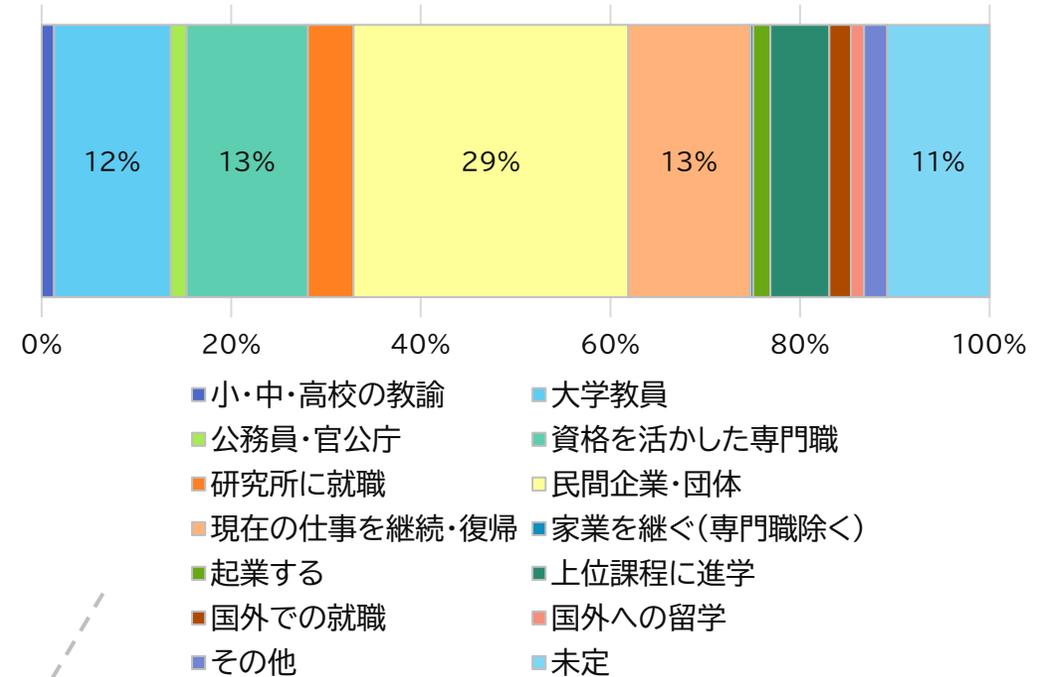
Q これまでに現在の課程において論文の投稿や研究成果の発表をおこなったことがありますか。あてはまるものをすべて選択してください



・3割ほどの学生が国内の学会発表をおこなっている

15 検討している進路・就職

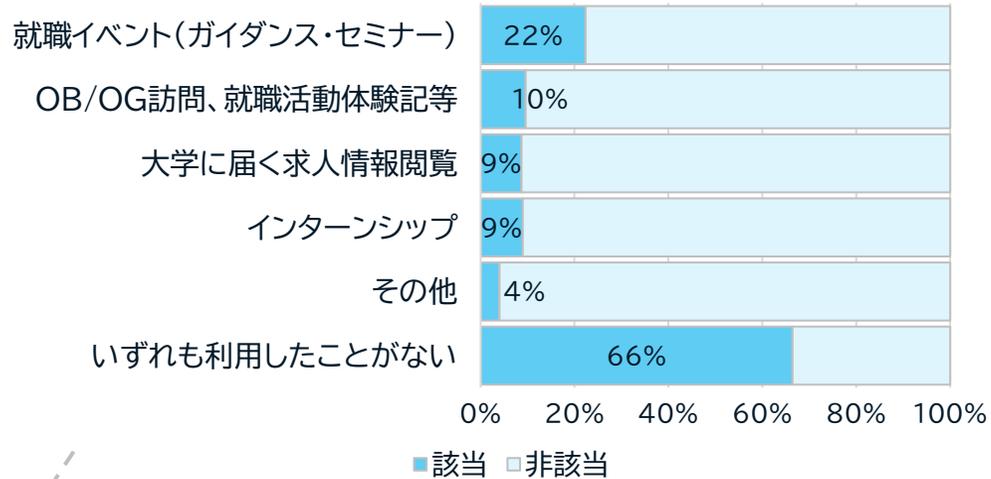
Q 在籍している課程を修了後、どのような進路・就職を考えていますか。もっとも当てはまるものを選択してください



・修了後は3割に近い学生が民間企業への就職を考えている

16 就職・進路サービスの利用状況

Q これまでに利用したことがある学内の就職・進路支援サービスについて、あてはまるものをすべて選択してください

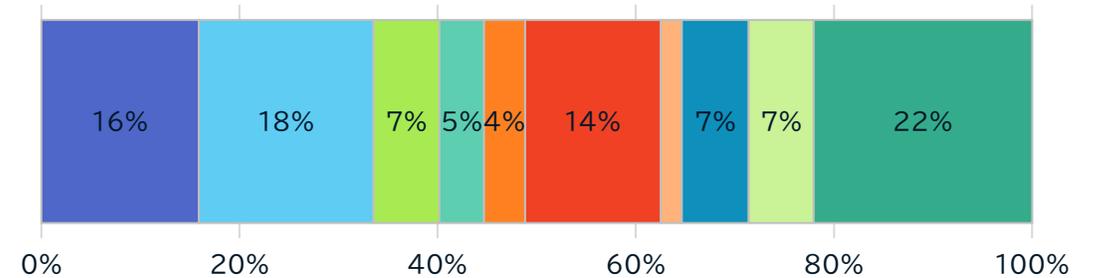


・6割以上の学生は学内の就職・進路サービスを利用していない

・何をしたいかわからない、やりたいことが定まらない学生もいる
 ・就職活動と研究活動の両立や、自分の研究や専門分野を活かした就職ができるかに不安を感じている学生があわせて3割ほどいる

17 就職活動を通じての不安や悩み

Q 就職活動前、活動中、内定後から現在にかけて、次のような不安や悩みを感じたことはありますか。もっともあてはまるものを選択してください



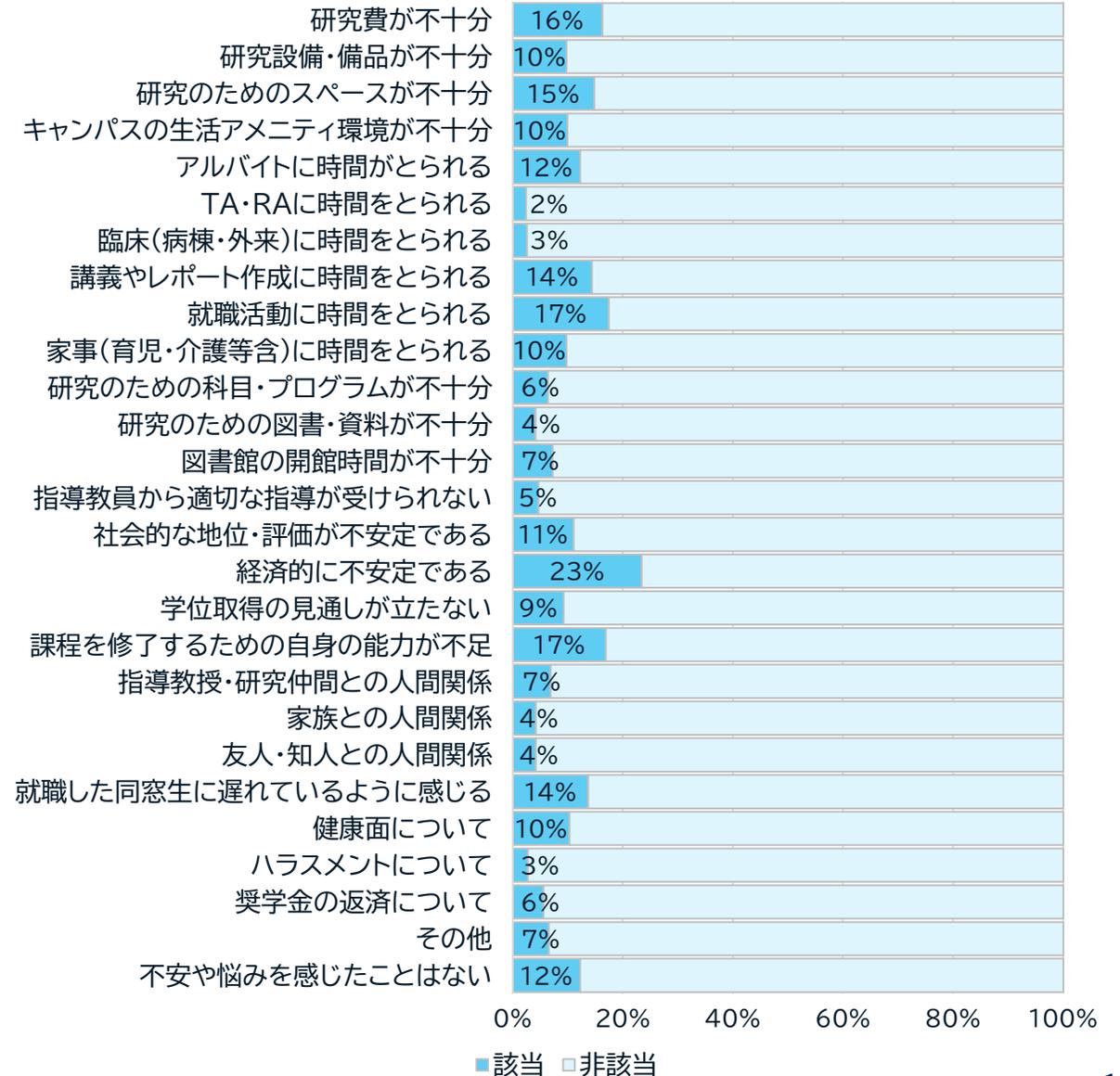
- 何をしたいかわからない、やりたいことが定まっていない
- 就職活動と研究活動の両立ができるか
- 就職活動のための情報収集がうまくできるか
- 進学したいが将来の就職に影響が出るのではないか
- 大学院修了者として社会に受け入れてもらえるか
- 自分の研究や専門分野を活かした就職ができるか
- 学部新卒とくらべて給与・評価で不利な待遇にならないか
- 企業や周囲からの期待に応えることができるか
- その他
- 不安や悩みはない

18 大学生活における悩みや障壁

Q 現在、大学院生活において、悩んでいることや障壁となっていると考えていることはありますか。あてはまるものをすべて選択してください

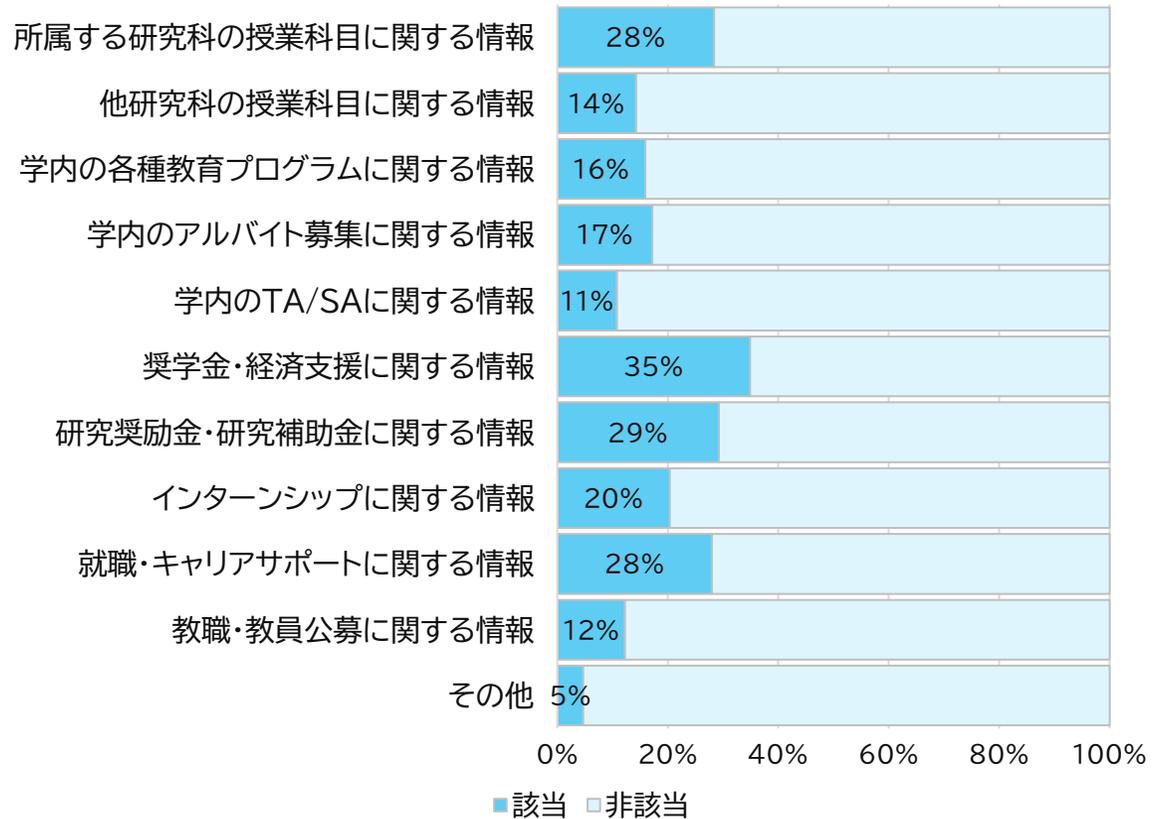
・大学院生活における悩みとして「経済的に不安定である」ことを選択した学生がもっとも多い

・学生によって多様な悩みがあることがわかる



19 大学に求める情報

Q 大学に求める情報として、どのようなものがありますか。あてはまるものをすべて選択してください【任意】



・大学院生は研究科の授業に関する情報のほかに「奨学金・経済支援」「研究奨励金・研究補助金」「就職・キャリアサポート」に関する情報を求めている